

(様式第1号)

令和 年度小中学生漁業体験・学習事業助成金申請書 (実績報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義 広 様

(申請者)  
団 体 名  
代表者氏名

印

小中学生漁業体験・学習事業を実施したい (実施した) ので、関係書類を添えて下記のとおり申請 (報告) します。

1 申請 (助成) 額 金 記  
円

2 事業計画 (実績)

目 的	
実 施 時 期	
実 施 場 所	
内 容	

3 収支予算 (決算) 書

(1) 収入の部

(単位: 円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
基金助成金				
そ の 他				
計				

(2) 支出の部

(単位: 円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
計				

注: 区分欄の費目は、当該事業で支出する科目を適宜記入のこと。

4 添付書類

【申請時】 実施計画書、事業主体の規約 (法人の場合不要)

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、写真、領収書等

(様式第2号)

令和 年度小中学生漁業体験・学習事業実施計画書（実施結果報告書）

事業（課題）名	例：〇〇地区少年水産教室			
実施主体		構成員数		
総事業費		うち基金助成額		
目的	例：漁業への理解と憧れを形成するため、〇〇地区小学5年生を対象に漁業体験学習を実施する（した）。			
事業内容	行事名	実施時期 (場所)	内容	参加者数
				小学生 名 中学生 名 その他 名 計
				小学生 名 中学生 名 その他 名 計
				小学生 名 中学生 名 その他 名 計
				小学生 名 中学生 名 その他 名 計
				小学生 名 中学生 名 その他 名 計
経費の積算（内訳）				
指導者				

(様式第3号)

令和 年度水産高校等連携育成事業助成金申請書 (実績報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義 広 様

(申請者)  
団 体 名  
代表者氏名

印

水産高校等連携育成事業を実施したい (実施した) ので、関係書類を添えて下記のとおり申請 (報告) します。

1 申請 (助成) 額 金 記  
円

2 事業計画 (実績)

(1) 目 的

(2) 事業内容

実習等名	時期 (日数)	場 所	実習先・ 講師名	参加 人数	内容等
ア 生徒の現場実習					
イ 技術者による学校での実践的指導					
ウ 共同研究					
エ 小中学校との連携					

### 3 収支予算（決算）書

#### (1) 収入の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
基金助成金				
その他				
計				

#### (2) 支出の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
ア生徒の現場実習				
イ技術者実践的指導				
ウ共同研究				
エ小中学校連携				
計				

注：区分欄の費目は、当該事業で支出する科目を適宜記入のこと。

### 4 添付書類

【申請時】 実施計画書、事業主体の規約（法人の場合不要）

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、領収書等

### 別紙

#### 経費積算の基礎（経費の内訳）

区 分	科 目	積算根拠（経費内訳）	金 額（円）	備 考
ア生徒の現場実習				
イ技術者実践的指導				
ウ共同研究				
エ小中学校連携				
合計				

(様式第4号)

令和 年度漁業志向青年等体験学習事業助成金申請書 (実績報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義 広 様

(申請者)  
団 体 名  
代表者氏名

印

漁業志向青年等体験学習事業を実施したい (実施した) ので、関係書類を添えて下記のとおり申請 (報告) します。

1 申請 (助成) 額 金 記  
円

2 事業計画 (実績)

目 的	
実 施 時 期	
実 施 場 所	
内 容	

3 収支予算 (決算) 書

(1) 収入の部

(単位: 円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
基金助成金				
そ の 他				
計				

(2) 支出の部

(単位: 円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
計				

注: 区分欄の費目は、当該事業で支出する科目を適宜記入のこと。

4 添付書類

【申請時】 実施計画書

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、写真、領収書等

(様式第5号)

令和 年度漁業志向青年等体験学習事業実施計画書（実施結果報告書）

行事名	例：〇〇地区漁業体験・現地見学会		
実施主体			
総事業費		うち基金助成額	
目的	例：漁業就業意識の高揚を図るため、漁業就業希望者を対象に漁業体験学習及び現地見学会を開催する（した）。		
実施時期、場所、参加者等			
事業内容（結果）			
経費の積算（経費内訳）			

注：結果報告時は参加者名簿を添付のこと。

(様式第6号)

令和 年度新規漁業就業者交流事業助成金申請書 (実績報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義 広 様

(申請者)  
団 体 名  
代表者氏名 印

新規漁業就業者交流事業を実施したい (実施した) ので、関係書類を添えて下記のとおり申請 (報告) します。

1 申請 (助成) 額 金 記  
円

2 事業計画 (実績)

目 的	
実 施 時 期	
実 施 場 所	
内 容	

3 収支予算 (決算) 書

(1) 収入の部 (単位: 円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
基金助成金				
そ の 他				
計				

(2) 支出の部 (単位: 円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
計				

注: 区分欄の費目は、当該事業で支出する科目を適宜記入のこと。

4 添付書類

【申請時】 実施計画書

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、写真、領収書等

(様式第7号)

令和 年度新規漁業就業者交流事業実施計画書（実施結果報告書）

行事名	例：〇〇地区新規漁業就業者交流会		
実施主体			
総事業費		うち基金助成額	
目的	例：新規漁業就業者の情報交換等ネットワークづくりを進め早期定着化を図るため新規就業者情報交換会を開催する（した）。		
実施時期、場所、参加者等			
事業内容（結果）			
経費の積算（経費内訳）			

注：参加者名を記載または名簿を添付のこと。



(様式第8号) 一受入経営体提出用一

令和 年度新規漁業就業者技術研修事業助成金申請書 (実績報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義 広 様

(申請者)

住 所

氏 名

印

新規漁業就業者技術研修事業を実施したい (実施した) ので、関係書類を添えて下記のとおり申請 (報告) します。

記

1 申請 (助成) 額 金 円

2 事業計画 (実績)

(1) 研修生受入経営体の概要

漁業種類・規模	
研修担当者	
研修内容 (漁業種類)	

(2) 受入実践研修生

氏 名		生年月日		年齢	
住 所				漁 業 就 業 年月	
現就業先・業務					
研修希望の内容 (研修成果)					

(3) 研修期間

令和 年 月 日～令和 年 月 日 ( 日間)
-------------------------

(4) 申請額の積算 (助成額の内訳)

研修指導費	研修日数 日 (1日2時間以上) × 8,000円 =	円
-------	-----------------------------	---

4 添付書類

【申請時】 実施計画書、営漁プラン

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、研修日誌等

(様式第9号)

令和 年度新規漁業就業者技術研修事業実施計画書（実施結果報告書）

受入経営体 住所・氏名			
実践研修生 住所・氏名		漁業就 業年月	
研修内容			
研修期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日（ 日間）		
研修計画 （研修実 績）	月(月日)	研修内容（実績）	

注：実施結果報告書に実践研修生の研修日誌を添付のこと。

## 研 修 日 誌

研修年月日	令和    年    月    日 (    曜日)		
研修生氏名		指導者認印	
研修項目			
研修内容 (どのような研修を受けたか具体的に記載)			
感想・反省等			

(様式第 10 号)

## 営 漁 プ ラ ン

現住所

氏 名

電話番号

生年月日 年 月 日 (満 歳)

### 1 自立時における漁業経営に関する目標

#### (1) 将来の漁業経営の構想

#### (2) 自立時における経営目標

漁業根拠地		自立の時期	年 月
営む漁業種類			
経営規模 (漁船、 養殖施設数等)			
生産目標 (万円)			
労働力	申請人との続柄	年 齢	年間漁業従事日数

### 2 経営開始に必要な施設等の整備

#### (1) 施設等整備計画

施設等の名称	規模等	実施時期	事業費 (万 円)	資金種別
				自己資金・借入金
				自己資金・借入金
				自己資金・借入金

#### (2) 資金調達計画

区分	資金名	借入時期	借入額 (万円)	償還期間
借入金				年
				年
自己資金	万円			

作成年月日：令和 年 月 日 コーディネーター所属・氏名

(様式第 11 号)

推 薦 書

第 号  
令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山 崎 義 広 様

漁業協同組合  
代表理事組合長 印

次の者は、新規漁業就業者技術研修事業の受け入れ経営体として適任と認められるので推薦します。

記

1 受入経営体

住 所  
氏 名

2 実践研修者

住 所  
氏 名

(様式第12号) 一実践研修生提出用一

令和 年度新規漁業就業者技術研修事業(小型船舶操縦士免許取得)  
助成金申請書(実績報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義広 様

(申請者)

住 所

氏 名

印

新規漁業就業者技術研修事業を実施したい(実施した)ので、関係書類を添えて下記のとおり申請(報告)します。

記

1 申請(助成)額 金 円

2 事業計画(実績)

(1) 研修生受入経営体の概要

住 所	
氏 名	
漁業種類・規模	

(2) 実践研修生

生年月日		年 齢		性別	男・女
漁業就業年月日	年 月				
現就業先・業務					

(3) 小型船舶操縦士講習会受講計画(実績)

受講期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日( 日間)
受講場所	
受講料	円(内訳 )
申請(助成)額 積算	受講料 円(千円未満切り捨て、上限10万円)

4 添付書類

【申請時】 小型船舶操縦士講習会に関する案内書(写し)等

【実績報告時】 助成金請求書、領収書(写し)

(様式第13号)

令和 年度OJT研修支援事業（国内先進漁家等技術研修）助成金申請書（実績報告書）

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義広 様

(申請者)

住 所

氏 名

印

OJT研修支援事業を実施したい（実施した）ので、関係書類を添えて下記のとおり申請（報告）します。

記

1 申請（助成）額 金 円

2 事業計画（実績）

生年月日		年齢		性別	男・女
研修魚種		研修項目			
研修目的					
研修期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日				
研修先	所在地： 氏名（機関名）： 経営・研究等の概要				
研修の内容（成果）					

3 申請額の積算（助成額の内訳）

① 研修機関等への納入額	=	円
② 交通費	=	円
③ 滞在費	=	円
④ 教材費	=	円
⑤ 合計	円×1/2=	円（千円未満切り捨て、上限10万円）

4 添付書類

【申請時】 実施計画書、身上調書、漁協推薦書

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、領収書等

(様式第 14 号)

令和 年度 O J T 研修支援事業 (国内先進漁家等技術研修) 実施計画書 (実施結果報告書)

研修者 住所・氏名		年齢	
研修期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日 ( 日間)		
研修先			
研修目的			
研修内容 (研修結果 及び考察)			



(様式第 15 号)

身 上 調 書

氏名 (ふりがな)		生年月日	年 月 日生	性別		
住 所	〒			電話番号		
略 歴	学歴 (最終学校名)			卒業年月		
	職 歴	年 月 ~ 年 月				
		年 月 ~ 年 月				
	研 修 歴	年 月 ~ 年 月				
		年 月 ~ 年 月				
	組 織 活 動 歴	年 月 ~ 年 月				
		年 月 ~ 年 月				
		年 月 ~ 年 月				
	家 族	続柄	氏名	年齢	漁業従事状況	健康状況
営む漁業種類						
経営規模						
その他施設等						
経営の特徴と将来計画						

(様式第 16 号)

推 薦 書

令和 第 年 月 日 号

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山 崎 義 広 様

漁業協同組合  
代表理事組合長 印

次の者は、O J T 研修支援事業（国内先進漁家等技術研修・新規漁業就業者 O J T 研修）の研修生として適格と認められるので推薦します。

記

- 1 研修生  
住 所  
氏 名
  
- 2 推薦理由

(様式第17号)

令和 年度O J T研修支援事業 (新規漁業就業者O J T研修)  
助成金申請書 (実績報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義広 様

(申請者)  
住 所  
氏 名 印

O J T研修支援事業を実施したい (実施した) ので、関係書類を添えて下記のとおり申請 (報告) します。

記

1 申請 (助成) 額 金 円

2 事業計画 (実績)

生年月日		年齢		性別	男・女
漁業就業 年月日	年 月 日		漁業継続 年数		年
研修魚種		研修項目			
研修目的					
研修期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日				
研修先	所在地： 氏名 (機関名)： 経営・研究等の概要				
研修の内容 (成果)					

3 申請額の積算 (助成額の内訳)

⑥ 指導者謝金	=	円
⑦ 交通費	=	円
⑧ 教材費	=	円
⑨ その他 ( )	=	
⑩ 合計	円×1/2=	円 (千円未満切り捨て、上限30万円)

4 添付書類

【申請時】 実施計画書、身上調書、漁協推薦書

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、領収書等



(様式第 18 号)

令和 年度 O J T 研修支援事業（新規漁業就業者 O J T 研修）実施計画書（実施結果報告書）

研修者 住所・氏名		年 齡	歳
漁業就業 年月日		漁業継続 年数	年
研修期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日（ 日間）		
研修先			
研修目的			
研修内容 （研修結果 及び考察）			

(様式第19号)

令和 年度研究グループ等活動事業（研究実践活動・研修活動・資格取得活動）  
助成金申請書（実績報告書）

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義広 様

(申請者)  
団体名  
代表者氏名

印

研究グループ等活動事業を実施したい（実施した）ので、関係書類を添えて下記のとおり申請（報告）します。

記  
円

1 申請（助成）額 金

2 事業計画（実績）

目 的	
実 施 時 期	
実 施 場 所	
内 容	

3 収支予算（決算）書

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
基金助成金				
その他				
計				

(2) 支出の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
計				

注：区分欄の費目は、当該事業で支出する科目を適宜記入のこと。

4 添付書類

【申請時】 実施計画書、グループ規約・会則

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、写真、領収書等

(様式第 20 号)

令和 年度研究グループ等活動事業実施計画書 (実施結果報告書)

課 題 名	例：〇〇養殖試験、〇〇技術先進地視察調査、〇〇資格取得活動		
実施主体		構成員 (うち参加者数)	( )
総事業費	円	うち基金助成額	円
目 的			
材料及び方法 (又は実施時期、場所、参加者等)			
活動内容 (結果及び考察)			
経費の積算 (経費内訳)			

注：視察調査及び資格取得活動については結果報告時に参加者名簿を添付のこと。

(様式第21号)

令和 年度青年等交流活動促進事業（情報交換等活動・地区活動実績発表大会  
・交流活動）助成金申請書（実績報告書）

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義広 様

(申請者)  
団体名  
代表者氏名

印

青年等交流活動促進事業を実施したい（実施した）ので、関係書類を添えて下記のとおり申請（報告）します。

記  
円

1 申請（助成）額 金

2 事業計画（実績）

目 的	
実 施 時 期	
実 施 場 所	
内 容	

3 収支予算（決算）書

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
基金助成金				
その他				
計				

(2) 支出の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
計				

注：区分欄の費目は、当該事業で支出する科目を適宜記入のこと。

4 添付書類

【申請時】 実施計画書

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、写真、領収書等



(様式第 22 号)

令和 年度青年等交流活動促進事業実施計画書（実施結果報告書）

行事名	例：〇〇地区交流研修会、〇〇地区研究活動発表大会、〇〇との交流		
実施主体		構成員 (うち参加者数)	( )
総事業費	円	うち基金助成額	円
目的			
実施時期、 場所、参加 者等			
活動内容 (結果)			
経費の積算 (経費内 訳)			

注：結果報告時に参加者名簿を添付のこと。

(様式第23号)

令和 年度地域リーダー研修事業助成金申請書 (実績報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義 広 様

(申請者)  
団 体 名  
代表者氏名 印

地域リーダー研修事業を実施したい (実施した) ので、関係書類を添えて下記のとおり申請 (報告) します。

1 申請 (助成) 額 金 記  
円

2 事業計画 (実績)

目 的	
実 施 時 期	
実 施 場 所	
内 容	

3 収支予算 (決算) 書

(1) 収入の部 (単位: 円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
基金助成金				
そ の 他				
計				

(2) 支出の部 (単位: 円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
計				

注: 区分欄の費目は、当該事業で支出する科目を適宜記入のこと。

4 添付書類

【申請時】 実施計画書

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、写真、領収書等

(様式第 24 号)

令和 年度地域リーダー研修事業実施計画書（実施結果報告書）

行事名	例：漁村青壮年リーダー研修会		
実施主体		構成員 (うち参加者数)	( )
総事業費	円	うち基金助成額	円
目的			
実施時期、 場所、参加 者等			
活動内容 (結果)			
経費の積算 (経費内 訳)			

注：視察調査及び資格取得活動については結果報告時に参加者名簿を添付のこと。

(様式第25号)

令和 年度地区漁業担い手育成推進協議会活動費交付申請書 (実績報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義 広 様

地区漁業担い手育成推進協議会  
会長 印

地区漁業担い手育成推進協議会活動事業を実施したい (実施した) ので、関係書類を添えて下記のとおり申請 (報告) します。

1 申請 (交付) 額 金 記  
円

2 事業計画 (実績)

(1) 基本方針

(2) 活動内容

区分	時 期	場 所	内 容	参加者等
協議会 開催				
独自事 業				

3 収支予算（決算）書

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分		本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	摘 要
基金交付金					
その他					
計					

(2) 支出の部

(単位：円)

区 分		本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	摘 要
計					
次期繰越額					

注：摘要欄に内訳明細を記入のこと。区分欄の費目は、当該事業で支出する科目を適宜記入のこと。

4 添付書類

【申請時】 協議会の計画書、規約（当初・変更時）、委員名簿（変更時）

【実績報告時】 協議会の実績書、その他参考資料

【交付金振込先】

金融機関名	銀行 支店		
口座種目	普通・当座	口座番号	No.
(フリガナ) 口座名義			
住 所			
電話番号			

(様式第26号)

令和 年度特認事業助成金申請書 (実績報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義 広 様

(申請者)  
団 体 名  
代表者氏名

印

特認事業を実施したい (実施した) ので、関係書類を添えて下記のとおり申請 (報告) します。

1 申請 (助成) 額 金 円

2 事業計画 (実績)

目 的	
実 施 時 期	
実 施 場 所	
内 容	

3 収支予算 (決算) 書

(1) 収入の部

(単位: 円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
基金助成金				
その他				
計				

(2) 支出の部

(単位: 円)

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	備 考
計				

注: 区分欄の費目は、当該事業で支出する科目を適宜記入のこと。

4 添付書類

【申請時】 実施計画書又は事業実施要領、実施主体の規約及び会員名簿

【実績報告時】 助成金請求書、実施結果報告書、写真、領収書等

(様式第 27 号)

令和 年度特認事業実施計画書 (実施結果報告書)

行事名等			
実施主体		構成員 (うち参加者数)	( )
総事業費	円	うち基金助成額	円
目的			
実施時期、 場所、参加 者等			
活動内容 (結果)			
経費の積算 (経費内 訳)			

(様式第28号)

令和〇〇年度〇〇〇〇〇〇事業助成金請求書

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義 広 様

(申請者)

団体名

代表者氏名

印

令和 年 月 日付け岩漁担第 号で交付決定のあった令和 年度〇〇〇〇〇  
事業が完了したので、次のとおり助成金の交付を請求します。

- 1 助成金請求額 円  
(1) 助成金交付決定額 円  
(2) 前金受領済額 円

2 助成金振込先

金融機関名	信漁連・銀行		支店
口座種目	普通・当座	口座番号	No.
フリガナ			
口座名義			
住所			
電話番号			



(様式第29号)

令和〇〇年度〇〇〇〇〇〇事業変更承認申請書

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義 広 様

(申請者)

団体名

代表者氏名

印

令和 年 月 日付け岩漁担第 号で交付決定のあった令和 年度〇〇〇〇〇事業について次のとおり変更したいので、関係書類を添えてその承認を申請します。

1 変更の内容

2 変更事由

添付資料

交付申請書の事業計画（実施計画書含む。）を変更計画に改め、変更前と変更後が対比できるよう変更前を上段に括弧書きで記載して添付のこと。

(様式第30号)

令和〇〇年度〇〇〇〇〇〇事業中止届

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義広 様

(申請者)

団体名

代表者氏名

印

令和 年 月 日付け岩漁担第 号で交付決定のあった〇〇〇〇〇事業について、事業を中止したいので届出します。

事業中止の事由

(様式第31号)

令和〇〇年度〇〇〇〇〇〇事業助成金前金払請求書

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金  
代表理事 山崎 義広 様

(申請者)

団体名

代表者氏名

印

令和 年 月 日付け岩漁担第 号で交付決定のあった令和 年度〇〇〇〇〇事業について、次のとおり前金払いを請求します。

- 1 前金払請求額 円
- (1) 交付決定額 円
- (2) 既請求額 円
- (3) 今回請求額 円
- (4) 残 額 円

2 助成金振込先

金融機関名	信漁連・銀行		支店
口座種目	普通・当座	口座番号	No.
フリガナ			
口座名義			
住 所			
電話番号			

添付資料：前金払いを必要とする説明資料（別紙）

(別紙)

前金払いを必要とする説明資料

1 前金払いを必要とする理由

2 事業の進捗状況 (令和 年 月現在)

事業実施の内容	事業進捗状況		
	総事業費 (円)	出来高 (円)	出来高率 (%)
計			
前金払い請求額			

注: 1 の前金払いを必要とする理由によっては、出来高の額を上回って請求することができる。

(様式第 32 号)

令和 年度

事業助成金交付決定通知書

岩漁担第 号

令和 年 月 日

(申請者)

団体名

代表者氏名

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金

代表理事 山 崎 義 広

令和 年 月 日付けで申請ありました令和 年度 事業に  
ついては、金 円を交付します。

交付条件等

- 1 助成金交付の対象となる事業は、令和 年 月 日付けで申請のあった令和 年度 事業とし、その内容は申請書の事業計画に記載のとおりとする。
- 2 助成金の交付決定を受けた者（以下「助成事業者」という。）は、公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金業務規程及び業務細則に従わなければならない。
- 3 助成金交付の条件は、前記 2 に定めるもののほか次のとおりとする。
  - (1) 助成事業者が、業務細則別表 2 に掲げる重要変更該当する事業変更を行おうとするときは、速やかに事業変更承認申請書を提出しなければならない。
  - (2) 助成事業者が、事業の遂行ができなくなったとき又は中止するときは、助成事業中止届を提出し指示を受けるものとする。
  - (3) 助成事業者は、事業を完了した日から 30 日以内に実績報告書を提出しなければならない。
  - (4) 助成金の交付を受けた者は、その証拠書類、帳簿等を整理し、事業完了の翌年から 5 年間保管しなければならない。
  - (5) 代表理事は、助成事業の適正な遂行を図るため、指導、助言することがある。